

臨床四肢セミナーDVD<下肢編>

～四肢の施術で身体を変える、四肢の施術が信頼を勝ち得る～

サンプルテキストレポート



講師：カイロベーシック代表 古谷 真寛



サンプルテキストの使い方

サンプルテキストは、臨床四肢セミナーDVD<下肢編>のサンプルムービー専用テキストです。サンプルムービーが始まり、少し鑑賞していると「サンプルテキスト1参照」とありますので、その時にサンプルテキストの指定ページを参考にしながらムービーを観ていきます。サンプルムービーとサンプルテキストを一緒にみることにより本製品と同じような使い方ができます。

<注意>

- ・このサンプルムービーテキストはサンプルムービー用に作ったテキストですので本製品のテキストとは構成などが変わってきます。
- ・サンプルムービーに含まれていない部分もサンプルテキストに入っています。
- ・サンプルムービー3、4につきましてはデモンストレーションのためにテキストはありません。

臨床での下肢の施術ステップ（サンプルテキスト1）

下肢は骨盤・脊柱の下に位置するために骨盤をしっかり支えていかなくてはなりません。

下肢と骨盤の密接なつながりは非常に興味深く、そのつながりを施術家が見極めることにより

治癒への道も開かれることが多いのではないかと思います。

カイロプラクティックテクニックは、基本的には骨盤と脊柱を中心にしたテクニックですが、

下肢に対しての施術もしますし、下肢のモーションパルペーションもします。

しかしながら、施術院に来院するクライアントさんの全員に下肢の全ての関節のモーションパルペー

ションをして、最終的に下肢を全て施術するかというとそうではありません。

では、下肢のモーションパルペーションはどのような時に使い、そしてどのようにして下肢の施術を

していくのか？

まず最初に、モーションパルペーションまでの順序についてまとめていきましょう！！

モーションパルペーションまでの順序ステップ2 (筋肉編) (サンプルテキスト2)

ステップ1のみかたが終わると次に実際に触っていくのですが、まだ下肢のモーションパルペーションはいたしません。まだやらなければいけない重要なステップがあります。

脊柱・骨盤ではモーションパルペーションをする前にルールともいうべきものがありました。そうです。モーションパルペーションの前には筋肉の問題をとっておくことが重要でしたね。下肢の場合も全く同じで、筋肉の問題をまず正常にしておくことが重要です。

下肢の筋肉には主に骨盤に影響を与えていく大きな筋肉と、その筋肉自体に影響を及ぼす筋肉とに分かれます。大きな筋肉は、臨床では関節を施術する前に必ず触っておくべき筋肉ともいえます。その部分が固いと、どこかにズレや痛み、違和感などがあるはずで

● 下肢の大きな筋肉のグループ

■ 大腿二頭筋

この筋肉は骨盤のズレに非常に関係する筋肉です。

カイロプラクティック的にはこの筋肉が緊張すると腸骨が後方回転にズレをおこしやすくなります。また、臨床上この筋肉は膝裏への痛み、膝の前の痛みを間接的に起こすなど、下肢の問題には中心的な役割をします。

■ 大腿四頭筋

この筋肉も大腿二頭筋とともに骨盤のズレに関係する筋肉です。この筋肉が緊張すると、腸骨が前方回転にズレをおこしやすくなります。

この四頭筋はほとんどの膝痛に関連してくる筋肉で、膝の痛みがあるのならば絶対にチェックしなければいけない筋肉です。

■ 腸腰筋

腸腰筋は脊柱から起こりますが、大腿骨の小転子につくために、下肢（下腿）からの影響がかなりあります。下肢からの影響で脊柱に影響を与える一つのプロセスを考えさせる筋肉ですね。